

姫路顕栄教会

# エピファニー・タイムス

【住所】〒671-1152 姫路市広畑区小松町4-36

編集責任者 牧師・司祭 ミカエル小南 晃

## 復活日に向けて

最も大切なこととしてわたしがあなたがたに伝えたのは、わたしも受けたものです。すなわち、キリストが、聖書に書いてあるとおりのわたしたちの罪のために死んだこと、葬られたこと、また、聖書に書いてあるとおりの三日目に復活したこと、ケファに現れ、その後十二人に現れたことです。

(コリントの信徒への手紙Ⅰ 15:3-5)

今月は大齋節から聖週、そして今月の最終日、3月31日には丁度復活日を迎えます。

そしてまた私たちはこの間にキリスト教にとって最も大切な出来事を記念します。

その出来事とは主イエス・キリストの十字架という最も絶望的な死からの復活であり、その死によって、主が私たちの罪をすべて贖ってくださり、私たちにも復活と永遠の命が約束されたという福音そのものに他なりません。

また私ごとを申し上げますと、私は今月末をもって定年退職を迎えます。キリスト教にとって最も大切な出来事を記念するこの時を皆様と一緒に過ごせますことを嬉しく思っています。

共によき復活日を迎えましょう。

さて私ども、2019年1月1日に当教会に赴任し、退職時で5年3ヶ月の在任期間となります。短い期間でしたが私の牧会生活においては色々な新たな経験をさせて頂きました。

まず付属幼稚園のある教会への赴任は初めての経験でした。通いで幼稚園のチャプレン勤務をしたことはありましたが、一日が園児たちを迎えることから始まる生活は新鮮であり、

また子どもたちが持っているエネルギーを日々分けて貰っている気がしました。

そしてこの間の大きな出来事をあげるならコロナ禍と新園舎建築ではなかったかと思えます。

2020年早々に始まった新型コロナ感染症蔓延により、礼拝自粛や訪問の制限を余儀なくされ、宣教・牧会においては停滞の時であったかと思えます。

しかしこの間に園舎の耐震化や少子化時代に対応するために新園舎建築が行なわれました。理事長をはじめ幼稚園の方々にとって大変な事業であったかと思えますが、まさに神の守りの内に完成したことは大きな喜びです。

また礼拝堂と幼稚園園舎が別個の独立した建物となることは教会としても週日の教会活動などを進めていく上での願いでもありました。

先にこの5年間を停滞の時であったと思うと申しましたが、考えようによっては「さなぎ」の時代として見ることもできるのではないのでしょうか。幼虫が「さなぎ」の中で飛ぶための新たな体を備えるように、姫路顕栄教会もこの間に新たな飛躍のための環境が与えられたのではと思います。姫路顕栄教会が、さらに神の栄光を現わして参られますことをお祈りいたします。

最後になりましたが、教会信徒と幼稚園教職員の皆様、また関係者の方々には、足らざる所の多い私どもを家族ともども暖かく見守ってくださり、またお支え頂いたことに心から感謝いたします。ありがとうございました。

司祭 ミカエル 小南 晃